

美和ダム再開発湖内堆砂対策施設モニタリング委員会（第1回）

議事要旨

日 時：平成28年10月17日（月） 13:00～15:00

場 所：安保ホール 601

【議事】

1. 設立趣旨について
2. 委員会規約（案）について
3. 議事
 - 1) 三峰川総合開発事業の概要
 - 2) 湖内堆砂対策施設計画の概要
 - 3) 委員会で検討する内容
4. 今後の予定について

【議事要旨】

1. 設立趣旨について

事務局説明 ■ 事務局より本委員会の設立趣旨を説明

主な意見等 ● 委員全員が了承

2. 委員会規約（案）について

事務局説明 ■ 事務局より本委員会の規約案及び委員長事務局案の説明

主な意見等 ● 委員全員が了承

● 委員会承認を受けて、委員長より就任挨拶

3. 議事

3.1 三峰川総合開発事業の概要

事務局説明 ■ 事務局より三峰川流域の概要、美和ダム再開発事業の必要性、事業の沿革、及び美和ダム再開発の事業メニューについて説明

主な意見等 ● 特になし

3.2 湖内堆砂対策施設計画の概要

事務局説明 ■ 事務局より美和ダム堆砂対策全体計画、湖内堆砂対策の概要、既往の環境モニタリング調査の概要について説明

- 主な意見等**
- 湖内堆砂対策施設の運用における着眼点について「ストックヤードから排出された土砂が横越流堰からダム湖内に流入する状況を確認する必要がある。」
 - 湖内堆砂対策施設の運用における着眼点について「バイパストンネルに流入する土砂の粒径をモニタリングする必要がある。」
 - 湖内堆砂対策施設の運用計画を検討するにあたり「ストックヤードは洪水の立ち上がり時に運用開始することになり、操作運用上、最も忙しいタイミングである。管理体制を考慮し、できるだけ簡単な操作とする必要がある。」
 - 湖内堆積土砂の浚渫にあたり「大規模出水後においてストックヤードに投入できない浚渫土量をどのように処理するのか、複数年をかけて分割投入するなどの案を検討する必要がある。」

3.3 委員会で検討する内容

- 事務局説明** ■ 事務局より本委員会（湖内堆砂対策施設試験運用前）で解決すべき課題、検討の流れ、試験運用計画、施設影響検討、環境影響予測、モニタリング調査計画について説明
- 主な意見等**
- 今後のモニタリング調査の実施にあたり「環境モニタリングは、ストックヤードの試験運用後だけでなく、運用前の調査も重要である。また季節変動、ダム以外の影響も考慮する必要がある。調査は、過去の調査を踏まえて適切に設定する必要がある。」
 - 調査及びその後の予測検討について「出水時・平常時の濁りの特性を整理した上で、魚類など生物に及ぼす影響をあらかじめ想定し、検討する必要がある。」

4. 今後の予定について

- 事務局説明** ■ 事務局より第2回及び第3回の各委員会について、議事概要及び開催日の説明
- 主な意見等** ● 特になし

以上